

# 令和3年度 京築地区中学校ソフトテニス大会要項

- 1 大会名 第59回京築地区中学校ソフトテニス大会
- 2 主催 京築地区中学校体育連盟 京築地区各市町(学校組合)教育委員会  
共催 福岡県教育委員会
- 3 期日 令和3年7月17日(土)、18日(日) 開始式 9:00  
雨天順延 予備日7月21日(水) 試合開始 開会式終了後  
中止連絡は午前6時半以降に、担当理事、地区専門部長が各郡市専門委員に連絡
- 4 会場 行橋総合運動公園内テニスコート(17日)  
能徳運動広場テニスコート(18日)  
行橋総合運動公園内テニスコート(21日)
- 5 参加制限 団体・・・各郡市男女2チーム  
個人・・・各郡市男女3ペア
- 6 競技方法 男女とも、トーナメント・リーグ方式とする。
- 7 競技規則

- (1) 日本ソフトテニス連盟国際競技規則ならびに福岡県中学校体育連盟及び本大会の申し合わせ事項に準じる。
- (2) 大会参加に際して引率・監督は、当該学校の校長、教員、部活動指導員とする。コーチは当該学校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けた者とする。
- (3) 使用球は男子アカエムボール、女子ケンコーボールとする。
- (4) 選手は、背中にB5大のゼッケンをつける。また、監督・コーチは胸にB6大のゼッケンを着用する。

選手ゼッケン

|                     |
|---------------------|
| 福岡県<br>氏名(姓)<br>学校名 |
|---------------------|

監督・コーチゼッケン

|                   |
|-------------------|
| 福岡 学校名<br>監督(コーチ) |
|-------------------|

- (5) 団体戦終了後個人戦を行う。
- (6) 男女とも、すべて3組とも対戦する。
- (7) 団体戦、個人戦ともすべて7ゲームとする。
- (8) 団体戦のオーダーは1部作成し、試合までに本部に1部提出する。
- (9) コート内は選手8名と、監督(校長・教員・部活動指導員)及びコーチ2名までとする。  
コーチは当該学校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けたものとする。
- (10) 審判は、出場校の教職員と生徒で行う。
- (11) サイドコーチは当該校の監督またはコーチがする。

(12) 服装はカラー化を認めるが、華美にならないようにすること。シューズはテニス用を使用すること。詳細については「県大会申し合わせ事項」に準ずる。

(13) 個人戦については3位決定戦を行う。

8 表彰 団体・・・1位（優勝旗、賞状）、2位（賞状）

個人・・・1位、2位（賞状）（賞状 大4枚、小40枚）

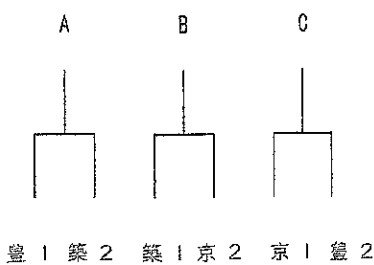
9 申込み 7月13日(火)午前中までに各都市専門委員が、地区専門部長に提出する。

1.1 組合せ

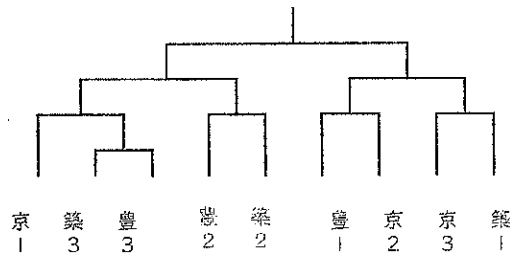
男子（本年度はトーナメントB案）

団体戦(専門部独自B案)

個人戦(D案を参考に専門部独自の組み合わせ)



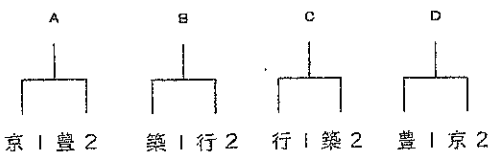
|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   | A | B | C |
| A |   | ① | ③ |
| B |   |   | ② |
| C |   |   |   |



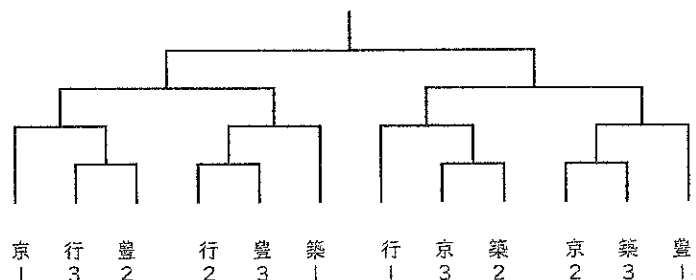
女子（本年度はトーナメントB案）

団体戦(B案)

個人戦(B案を参考に専門部独自の組み合わせ)



|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   | A | B | C | D |
| A |   | ① | ③ | ⑤ |
| B |   |   | ⑥ | ④ |
| C |   |   |   | ② |
| D |   |   |   |   |



1.2 県大会出場 団体は1, 2位、個人は1, 2, 3位が県大会に参加する義務を負う。

1.3 その他 (1) 前年度優勝校 男子 吉富中 女子 吉富中

(主将が開始式の選手宣誓を行う。)

(2) AEDは本部に設置。

(3) Jアラート警報時は、試合を一時中断し、屋内にて安全を確保する。警報が解除され次第、試合を再開する。

# 令和3年度京築地区中学校（ソフトテニス）大会感染防止ガイドライン

- 受付
  - 窓口には、手指消毒剤を設置すること
  - 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後2週間保管すること
  - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
  - 利用当日の体温
  - 利用前2週間における以下の事項の有無
    - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
    - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
    - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
    - 嗅覚や味覚の異常
    - 体が重く感じる、疲れやすい等
    - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
    - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせたり、速やかに帰宅させたりすること
  - 体調がよくない場合（発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- マスク等の準備
  - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
  - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
- 大会参加前後の留意事項
  - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
  - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- 手洗い場所
  - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
  - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）
  - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペース
  - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
  - 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
  - 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
  - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 飲食
  - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること
- 洗面所
  - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
  - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
  - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること）
- 飲食物の提供時
  - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
  - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
  - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
- 保護者の管理（適時アナウンスや掲示物でお知らせをすること）
  - 保護者の参加人数については、原則3年生の人数(各家庭1名)とし、各校で準備した「〇〇中保護者」と記載した名札を身につけた者に限ること。ただし、3年生の保護者が少数であるなど、緊急時の対応等に不安がある場合は学校長の判断で必要最低限の保護者の入場を認める。
  - 大会関係者や保護者同士が密な状態とならないようにすること
  - 大声で会話をしたり、声援を送ったりしないこと
  - 会話をする場合にはマスクを着用することなどの留意事項を周知すること

- 大会会場
  - 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
  - 換気設備を適切に運転すること
  - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- ゴミの廃棄
  - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
  - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること
- 試合での留意事項
  - 審判員の使用する筆記用具は、審判員各自で用意し、共有を避けること
  - コート内においては、できるだけ2メートルを確保するよう努力するとともに、ペアで話をする際には、対面しないようにすること
  - 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行うこと  
また、試合後の選手間での握手も禁止とすること
  - ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと
  - 待機選手はコートで一定間隔を保ち応援すること
  - 用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しを行わないこと
  - 試合終了の度に、こまめな手洗いを行うこと
- 選手の入場規制
  - 選手の入場は、登録メンバーのみとする。ただし、3年生はその限りではない。